

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名【新】「県民文化の森」わくわくプロジェクト事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 文化伝承課 教育文化係 電話番号：058-272-1111(内3142)

E-mail : c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 12,000 千円 (現計予算額) 0 千円

<財源内訳>

| 区分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | |
|-------|--------|---------|---------|-----------|-------|-------|-------|-------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使 用 料 手数料 | 財 産 入 | 寄 附 金 | そ の 他 | 県 債 |
| 現計予算額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 補正予算額 | 12,000 | 5,950 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,050 |
| 決定額 | 9,500 | 4,700 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,800 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

将来を担う子ども、若者の豊かな人間性や創造力、感性を育むためには、文化、芸術に気軽に触れ、親しむ環境を作ることが必要である。

そのためには、県有施設を有効的に活用し、各施設を「楽しい場所」、「行ってみたい場所」と感じ、気軽に訪れることができる取組が必要がある。

(2) 事業内容

文化芸術の発信拠点として県図書館・県美術館エリアを利用し、両館をはじめとする県文化施設等による賑わい創出事業を夏と秋に実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設の有効活用、賑わい創出に資するため必要な経費である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|----------|
| 旅費 | 10 | 業務旅費 |
| 需用費 | 23 | 事務用品等 |
| 役務費 | 67 | 郵送費等 |
| 委託料 | 11,900 | イベント開催経費 |
| 合計 | 12,000 | |

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「10の目指すべき目標」

10 文化や芸術、スポーツなど人生を豊かにする活動を促進する

(2) 国・他県の状況

他県においても、県有施設の利用促進のための事業を実施している。

(3) 後年度の財政負担

次年度以降も継続して同規模の事業を実施する

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設を有効活用するための事業であるため県が実施する

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

| |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

施設の来場者数が継続的に増加し、特に子ども・若者層の利用が定着すること

(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業開始前 (R6) | R7年度 実績 | R8年度 目標 | R9年度 目標 | 終期目標 (R10) | 達成率 |
|-----------------|---------------|------------|------------|------------|---------------|-----|
| ①図書館・美術館来館者数(人) | 510,279 | | 535,000 | 561,750 | 589,850 | |

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

| | |
|-------------------|-----------------------------------|
| 令和 4 年 度 | ・取組内容と成果を記載してください。 |
| | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ % |
| 令和 5 年 度 | ・取組内容と成果を記載してください。 |
| | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ % |
| 令和 6 年 度 | ・取組内容と成果を記載してください。 |
| | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ % |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

| | |
|---|--|
| (評価) | |
| ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) | |
| 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) | |
| ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) | |
| 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) | |

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

多彩なニーズに応えた来館のきっかけとなる取り組みを、より多くの方の継続的な施設利用に繋げる必要がある。

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
文化施設が「楽しい場所」、「行ってみたい場所」であるとの認識が定着するよう事業を継続する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|--|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | |
| 組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など | |